

「サイバーセキュリティセミナーin高松」を開催

《サイバーセキュリティと事業継続 ～持続可能な成長に向けた戦略～》

- 総務省四国総合通信局及び四国サイバーセキュリティネットワークは、令和6年12月12日（木）に「サイバーセキュリティセミナーin高松」を高松市で開催（ハイブリッド）し、**四国各県の企業、自治体、銀行、大学、警察、国の機関等**から、**現地・オンライン計約60名**の参加がありました。
（このセミナーは「四国サイバーセキュリティネットワーク（四国SEC）※1」の取り組みの一環である「サイバーセキュリティシンポジウム道後（SEC道後）2025※2」のプレイベントとして開催しました。）
※1 <https://www.soumu.go.jp/soutsu/shikoku/chiiki/shikoku-cybersecuritynet.html>
※2 <https://www.sec-dogo.jp/>
- セミナーでは、サイバー攻撃の現状と対策や、地域におけるサイバーセキュリティ対策に関する取組の情報共有、地域の企業や個人が狙われたサイバー犯罪事例や講じるべき対策についての講演を実施し、サイバーセキュリティ対策向上の重要性等について理解を深めていただきました。
- セミナー終了後、**四国SEC主催**で市内別会場において**情報交流会**を開催し、講師を含め**約20名**の参加がありました。地域のセキュリティコミュニティ充実を図るため、参加者間で情報共有や意見交換を行っていただくことで、交流を深めていただきました。



■ 講演 1
「情報通信分野におけるサイバーセキュリティ対策の動向」
総務省 サイバーセキュリティ統括官室 統括補佐 梅城 崇師 氏から、サイバー攻撃の動向や最新事例、その課題に対する国の施策についてご紹介いただきました。



■ 講演 2
「サイバー犯罪の現状と対策」
香川県警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策課 課長補佐 松永 裕二 氏から、SNSやマルウェアを利用したサイバー犯罪の事例と、その対応策についてご説明いただきました。



■ 講演 3
「中小企業の持続可能な成長を実現するサイバーセキュリティ対策」
株式会社ラック 新規事業開発部長 又江原 恭彦 氏から、サイバーセキュリティ専任担当者の重要性や、リスク分析の手法についてご説明いただきました。



■ 講演 4
「事例から考えるセキュリティ脅威と対策」
株式会社STNet プラットフォーム本部 セキュリティサービス部 セキュリティサービス第2課 宮崎 貴充 氏から、身近なセキュリティインシデント事例のケースと、その対策方法についてご紹介いただきました。



＜会場の様子＞

* 参加者アンケートより

「実際の事例に基づいたお話が有益だった」
「講演内容全体の流れが、政府の取組みから実際の現場の具体例まで段々と下りていったため、分かりやすかった」
「具体的な事例をご紹介いただいたので、大変参考になった」

（お問い合わせ先）四国総合通信局サイバーセキュリティ室（089-936-5044）